

中東北の拠点都市一関の
元気を発信するマガジン

川崎版
Mar.2018 No.300
3.15

I-Style

Ichinoseki City Public Relations Magazine 3 March 2018



①もぎたてのイチゴ、おいしい! ②③これがいいかな④ご来園お待ちしております

もぎたてのイチゴに大はしゃぎ!

COVER★川崎保育園児いちご狩り体験
撮影日 1月30日 / 場所 観光いちご園「もぐもぐの里」

川崎保育園(熊谷玲子園長・園児76人)の年長児19人は1月30日、観光いちご園「もぐもぐの里」(千葉昭弘代表取締役)でいちご狩りを体験しました。卒園を前に思い出をつくってもらおうといちご園が招待したもので、開園を前に、一足早くもぎたての味を楽しみました。

「もぐもぐの里」は、25アールのハウスに「とちおとめ」と「さちのか」の2品種、約1万5千株を栽培。真っ赤なイチゴを前に大はしゃぎの園児たち。食べ頃を見つけては、ハサミで上手に摘み取り、口いっぱい頬張りました。

今野悠真くん(6才)は「甘くておいしかった。前にも来たことがあったので上手に摘めた。また来たい」と笑顔。いちご園の千葉さんは「低温などの影響で色づくまでに時間がかかっている分、甘みが増しておいしくなっている。5月末まで多くの人に味わってほしい」と話してくれました。

川崎地域お役立ちカレンダー

Ichinoseki Monthly Useful Calendar

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
3 March				15 ■市県民税申告相談 9:00 川崎農村環境改善センター (全地区指定なし) ■1歳6カ月児健診 12:45 千歳保健センター ■川崎小学校修了式 ■川崎中学校修了式	16 ■川崎小学校卒業式	17 ■川崎保育園卒園式
18	19★ ■川崎図書館休館日	20 ■3~4 カ月児健診 12:45 川崎防災センター	21 ■川崎図書館おはなし会 (乳幼児向け) 11:00 川崎図書館	22 ■川崎図書館整理休館日 ■川崎小中学校離任式	23	24 ■川崎図書館おはなし会 (幼児向け) 11:00 川崎図書館
25	26★ ■川崎図書館休館日	27	28	29	30	31 ■川崎音楽祭 (川崎ツインコンサート) 14:00 川崎市民センター
4 April						
1	2★ ■川崎図書館休館日	3	4 ■川崎保育園入園式	5 ■川崎小学校始業式 ■川崎中学校始業式 ■川崎中学校入学式	6 ■川崎小学校入学式	7
8	9★ ■川崎図書館休館日	10 ■てんとう虫教室開講式 10:00 川崎市民センター	11 ■行政相談所 13:30 川崎防災センター	12 ■川崎中学校学習旅行 (~14日)	13	14 ■川崎図書館おはなし会 (幼児向け) 11:00 川崎図書館 ■千歳川桜堤ライトアップ点灯式① イベント 17:00 ②点灯式 18:00 (ライトアップは4/28まで) ■川崎小学校授業参観 13:15 川崎小学校 ■北上川一斉清掃 9:00 川崎防災センター集合

★印は窓口延長の日。午前8時30分~午後7時まで、戸籍の届け出や住民票などの交付、市税の窓口納付、児童手当申請などの業務を延長して行います。詳細は、支所市民課☎2113または保健福祉課☎2115までお問い合わせください。

撮っておき・かわさき Profile No.12

—川崎地域シニア吹矢大会—

市老人クラブ連合会川崎支部(伊藤力支部長)が主催する川崎地域シニア吹矢大会は2月8日、川崎農村環境改善センターで開かれ、町内の老人クラブから約40人が参加しました。

スポーツ吹矢は、誰でも気軽に始めることができ、腹式呼吸をすることで楽しみながら健康増進効果も期待される



スポーツ。競技は個人戦で、1ラウンド5本の矢を吹き、3ラウンドの合計得点で競われました。参加者は、6メートル先の的を狙いテンポ良く矢を吹き、腕前を競い合いました。

競技の結果、優勝は鈴木章さん(銚子睦会)、準優勝は橋本勝弥さん(砂子田老人クラブ)、3位が小野寺幸平さん(陳が森光栄会)。初出場で優勝した鈴木さんは「これまで興味はあったが、経験はなかったので3回ほど練習した。大会に出て楽しさが増した。今後も続けたい」と笑顔で話してくれました。

地域のお知らせ

お知らせ 4月から市営バス(川崎弥栄)の運行ルート及び運行時刻が一部変わります

川崎支所地域振興課 ☎ 2111

市営バス(川崎弥栄)は、4月から下記の2路線について運行ルートと運行時刻の一部を改正する予定です。詳しくは別紙チラシを確認のうえ、ご利用ください。

◇変更路線…①「上巻・畑の沢」線②「石畑・赤柴」線

◇問い合わせ…上記へ

お知らせ 4月1日から市営バス(藤沢)「藤沢一関線」を運行します

藤沢支所地域振興課 ☎ 2111

岩手県交通「藤崎線」の廃止に伴い、新たに市営バス(藤沢)「藤沢一関線」を運行する予定です。詳しくは別紙チラシを確認のうえ、ご利用ください。

◇問い合わせ…上記へ

催し 川崎音楽祭～川崎ツインコンサート～

川崎市民センター ☎ 3112

平成29年度いちのせき元気な地域づくり事業を活用して、川崎町出身の音楽家によるコンサートを開催します。

◇期日…3月31日(土)14:00開演

※開場は13:30

◇場所…川崎市民センター ホール

◇入場料…2000円

※未就学児は、入場できません。

◇出演者…松岡洋一、菅原浩史

◇主催…川崎コーラスの会

◇問い合わせ…上記へ

催し 千厩川桜堤のライトアップ事業点灯式

川崎支所市民課 ☎ 2113

平成30年度いちのせき元気な地域づくり事業を活用して、千厩川堤防をライトアップします。

◇期日…4月14日(土)18:00～点灯式

◇場所…泉沢河川公園

◇内容…点灯式、「おしるこ」「玉こんにやく」振る舞い(数量限定)など※点灯式の前には布佐神楽、一関二高太鼓道場部の演奏があります。

◇その他…4月14日(土)から4月28日(土)までライトアップします。点灯時間は18:30～21:00です(雨天中止あり)。

◇問い合わせ…上記へ

募集 北上川一斉清掃参加者

川崎支所建設水道課 ☎ 2116

◇期日…4月14日(土)9:00～11:00

※小雨決行

◇場所…川崎水辺プラザ及び砂鉄川

◇申し込み…事前に川崎支所建設水道課へ

◇その他…ゴミ袋、軍手は準備します。

市全体のお知らせ

お知らせ 防災行政無線の内容を電話やメールで確認できます

消防本部消防課 ☎ 5912

防災行政無線で放送された内容は無料のテレガイドで聞くことができます。

下記の番号に電話し、音声案内に従って操作してください。

また、あらかじめ「一関防災メール」に登録しておくと、防災行政無線が放送されたときに、内容がスマホや携帯電話にメールで届きます。登録は下記から行うことができます。

◇テレガイド…☎0800-800-3174

◇「一関防災メール」登録方法…お使いの携帯電話、スマートホンから空メールをichinoseki_shobo@x.bmd.jpに送ってください。

お知らせ 第7回県南認知症ケア研究会「地域で支える認知症」～認知症の人を支える担い手のために～

◇日時…4月14日(土)13:30～16:30

◇場所…藤沢文化センター(縄文ホール)

◇内容…劇団公演、実践報告、特別講演

◇問い合わせ…岩手県南認知症ケア研究会事務局(国保藤沢病院内) ☎ 5211

川崎地域の空間放射線測定結果

単位：マイクロシーベルト/時

測定場所	測定日	測定値(地上1m)
川崎市民センター進入路	2月13日	0.06
川崎保育園 園庭	2月13日	0.05

※国が示す除染の要件は、地表から1mの高さの空間放射線量が、毎時0.23マイクロシーベルト(年間1ミリシーベルト)以上です。

☎放射線対策室…☎218331

CITY TOPICS まちのトピックス

長生きの秘訣は「人とのきずな」 —第32回かわさき健康福祉まつり—



かわさき健康福祉まつりは2月3日、川崎市民センターで開かれました。

各種団体による「みんなのステージ」では「人形劇ば・ば・ば」による「犬のおまわりさん」、ワークジョイかわさきによる「よさこいソーラン」、やさいサラダや工房てんとう虫のダンスなどが披露されました。また健康づくり活動などを紹介した展示やアート・遊書体験コーナー、食生活改善推進員のヘルシーランチや川崎赤十字奉仕団の豚汁の振る舞いなどもあり、参加者は楽しみながら健康への理解を深めていました。

併せて開催された講演会「かわさき未来会議」では「高齢化」を前向きに考え、そこから生まれる「支え合いのまちづくり」のヒントについて皆で理解を深めました。

練習の成果に盛んな拍手

—チャリティショー「かわさき芸能発表大会」—

かわさき芸能発表大会(川崎芸術文化協会主催)は、2月4日、川崎市民センターで開かれ、同協会に所属する16団体が出演。25演目の華やかなステージを繰り広げました。

舞台では、日本舞踊やダンス、カラオケなどのほか、今年は久しぶりに布佐神楽が出演。緑のふるさと協力隊の中芝浩美さんが「三番叟」を披露して会場を沸かせました。子どもからベテランまでが日頃の稽古の成果を次々と披露すると、この日を楽しみに詰めかけた観客で満席の会場からは、盛んな拍手や声援が送られていました。

また募金箱に寄せられた多くの善意は、一関市社会福祉協議会川崎支部に届けられ、社会福祉事業の推進のため役立てられます。



ひろみ隊員のかわさき日記

伐採から火まぶりまで —昔ながらの炭焼きを体験—

緑のふるさと協力隊員の中芝浩美さんは、2月3日から12日にかけて行われた炭焼きを体験しました。この事業は、門崎ファーム(藤江修組長)と中芝さんが共同で企画したもので、炭ができるまでの一連の作業を体験し、昔ながらの知恵と技術を学んでもらうことを目的に、炭焼き窯のある所萱自治会(門田恒治会長)の協力で初めて行われました。

中芝さんは、伐採・搬出、薪づくり、窯への薪入れ、火入れ、火まぶりの一連の作業を体験。薪を割る機械を操作したり、窯から古い炭を出して薪を並べたりと大活躍。「時には灰で顔が黒くなったけど、火をまぶりながら、おにぎりやリンゴなどを焼いて食べたことや、作業を通じて地域の皆さんとたくさん話ができたことが楽しかった」と笑顔で話してくれました。



かわさき川柳同好会(二月作品) 内田正好選

自由詠
 「はれのひ」の秘し雲隠れどこへやら
 降り止まぬ洒落にならない雪見酒
 雪景色中に春呼ぶ鳥の声
 赤い実に見目忍んで番鳥
 老夫婦なんとほのぼの手をつなぎ
 幼友長電はずんでヤカン鳴き
 大雪に頬被りして動き出す
 千流の水がお洗い八十路生き
 節分は雪を丸めて鬼は外
 飽きました雪かき腰に効き過ぎる
 佳作
 立ち眩み老いと地球が自転する
 豪雪に春の香りの味噌屈き
 ピョンチャンの青空高くレイラ舞え
 秀逸
 我が郷土文学土壌を醸し出す
 「選評」
 芥川賞の「おらおらでひとりいぐも」の作者は遠野出身、直木賞の「銀河鉄道の父」は賢治の父親の物語。そして芥川賞の「影裏」の作者は盛岡在住。そして川崎町出身の山川修平氏など、確かに文学土壌の岩手です。ね。
 選者吟
 へり問題何人死んだとヤジル馬鹿
 (会員募集中です。お声をかけて下さい。)
 会長 いとう滋

菅原孝
 小野ハルコ
 小山博子
 佐藤和子
 和田耕一
 伊藤サツキ
 菅原文子
 米倉ハルミ
 三浦富月
 小野寺キヨ
 小野寺七郎
 鈴木禎子
 いとう滋
 伊藤孝雄

Books Review

3月の本

川崎図書館 ☎ 43-4123

「注文をまちがえる料理店」

小国士朗/著 あさ出版

認知症の人たちが働くレストランがあります。そこは「注文をまちがえる料理店」。メディアで話題になった不思議なレストラン誕生からプロジェクト成功までの記録です。

「短歌は最強アイテム 高校生活の悩みに効きます」

千葉聡/著 岩波書店

高校で教鞭をとる著者が、短歌を通じて生徒と心を通わせる短歌エッセイ。悩みが多い高校生に響く短歌が随所に紹介され、著者の教師生活奮闘ぶりも楽しい一冊です。

「はなをくんくん」

ルース・クラウス/文 マーク・シーメント/絵 きじまはじめ/訳 福音館書店

雪深い森の中。熊やリスなど森の動物たちが冬眠している中、野ねずみは「はなをくんくん」と目を覚まし…。白黒の絵に後半、色がつきはじめ、春の訪れを感じる絵本です。

